

くすのき



令和4年度
千葉市立山王中学校
学校だより5号
令和4年9月15日(木)
校長 細川 義文

伝統というバトンを渡すとき

細川 義文

昇降口向かいの植込みにある綿が花をつけました。社会科で綿の生産地を習ったり資料集などで写真を見たりしたことは多くの方があると思います。また綿が使われている服を着ることも日常生活で当たり前のようにしていることです。しかし、実際に綿の花が咲いているのや白い綿毛が盛り上がり花が咲いたようになっている実物



ピンク色の綿の花

を見たことのある人はどれくらいいらっしゃるでしょうか。私は今回初めて綿の花を見ました。開花から50～60日頃に白く柔らかな実綿が見られるそうですので、今から楽しみにしています。もしご覧になったことのない方はぜひご来校いただき、お子様の様子を参観いただくとともに綿の観察をしてみたいはいかがでしょうか。

さて、44日間という長い夏休みが終わりました。前半は部活動の区市総体やコンクールがあり、忙しく過ごしたお子様もいらっしゃると思いますが、それでも普段の生活に比べたら、格段に自由になる時間が多くあったことでしょう。8月29日に元気に登校してくるお子様たちの様子から、充実した夏休みを過ごすことができたのだろうと感じました。また交通事故などの大きな事件、事故に巻き込まれたという報告を受けておりませんので、みんなが無事に夏休みを過ごせたことにもほっとしました。

学校では新しい部活動部長会が組織されようとしています。また生徒会役員選挙が始まるなど、3年生から1、2年生へのバトンリレーが着々と進んでいます。3年生は中学校卒業後の進路を切り拓いていく努力を、1、2年生は山王中学校の伝統を引き継ぎ、更に発展させていく努力をこれからしていくこととなります。時には壁にぶつかることもあろうかと思いますがそれぞれが自分の力を信じて進んでいってくれるものと期待しています。保護者の皆様におかれましても、お子様たちの努力を後押ししていただければ幸いです。